

新型コロナウイルスの影響ですべてが止まった映画業界！

伊勢志摩から全国へ！消えかかった芸術文化へ火を灯す！

ほうていそうぞくにん
劇場用映画『法定相続人』製作委員会 三重県知事表敬訪問

【はじめに】

現在、新型コロナウイルスの影響で、世界中で数多くの映画や舞台、ドラマ製作などが休止や中止を強いられています。「芸術文化の火を消すまい」とこの状況下で、私たちは、テレビ会議や電話でのやり取りを繰り返し、令和2年6月1日より三重県の伊勢志摩を中心とする三重県下を舞台に、全国および世界に発信する劇場用映画の製作をスタートさせました。

当映画によって、真珠養殖誕生の地を国内外に発信し、自分たちの手で地元を盛り上げ、新たな観光を呼び込む起爆剤にしたいという思いから、伊勢志摩の有志がプロデューサーを担います。

【きっかけ】

伊勢志摩を舞台にした映画を作りたいという故 山際新平さん（志摩市出身 三丁目の夕日のプロデューサー）の遺志をついだ脚本家の児島秀樹さん（伊勢市出身）が、国内外の映画賞を数多く受賞する映画監督 田中光敏 氏と出会ったことがきっかけとなり、意気投合。伊勢志摩の有志と合流し、ただの地方映画ではなく、全国で評価されるこだわりのストーリーを劇場用映画で表現する。

【スケジュール】

撮影は、志摩市を中心に伊勢市、鳥羽市、南伊勢町など三重県下で行われる予定。先行してシナリオハンティングが令和2年6月1日（月）から4日（木）まで行われました。

その後、脚本完成、キャスティングを含む製作準備の後、2021年秋に数か月をかけ撮影等を行い、2022年の秋頃に全国規模での公開を目指します。

【STORY】

当作品は、志摩で真珠養殖業を営む一家を中心にストーリーが展開する。

世界の富豪が6億円の値をつけた、伝説の真珠を隠し持つ父親が年をとり、認知症の疑いが出てきた。このままでは伝説の真珠を隠した場所を父親が忘れてしまうかもしれない。これは大変だ、なんとかしなければ。いろんな思惑が交錯する三人の娘たち。長女、次女は先妻の子どもで三女は後妻の子どもであることから、何かとソリが合わない。下心たっぷりの長女が父親の資産目当てに行動に出た。企みに気づいた三女が反撃に出るも、予期せぬことが次々と襲い掛かり、物語はとんでもないところへと転がっていく。

「人の幸せの在り方」とは、いったい何なのだろう？

伊勢志摩を舞台に、伝説の真珠を巡って一家大騒動の社会派コメディの幕があく！

【連絡先】 劇場用映画「法定相続人」製作委員会

住所：三重県伊勢市楠部町乙 137-1 (株)KickSmash21 内

TEL 090-5116-3574 FAX 0596-64-8180